



## トラベリングフェロー TF ・ インタビュー

青森市民病院整形外科 副部長 市川 奈菜 先生

### 1. 先生が経験されたのはどの学会からの TF ですか？

東北整形災害外科学会の Traveling Fellowship です。

### 2. 渡航先はどちらですか？

ミャンマーの首都、ヤンゴンを訪れました。MOS ASM(Myanmar Orthopaedic Society Annual Scientific Meeting) & AOA (ASEAN Orthopaedic Association) Congress 2018 に参加した後、Yangon General Hospital と Yangon Orthopaedic Hospital で病院見学をしました。

### 3. どのくらいの期間行かれましたか？

2018年11月7～15日の8日間です。初めの3日間は学会に参加し、後半の4日間は病院見学をしました。

### 4. 卒後何年目あるいは何歳頃行かれましたか？

卒後5年目、29歳で参加しました。

### 5. TF を目指したきっかけは何かありましたか？

もともと海外旅行が好きで、外国の方とコミュニケーションをとるのが好きなので、興味がありました。当教室で、初期研修を修了した若手が多く演題登録するのが東北震災なのですが、指導医の先生から TF があるということを知り、一生懸命発表、論文を作成しました。

### 6. TF に際し、費用面で公的援助・給与などを受けることはできましたか？

学会から援助金をいただきました。

### 7. 留守中、職場・家庭において準備したことなどありますか？

長期間ではなかったので、出発前にできる日常業務を片付けたくらいです。上司の先生方が快く送り出

してくださいました。

## 8. 渡航先では、主にどのような経験をされましたか？

MOS ASM(Myanmar Orthopaedic Society Annual Scientific Meeting) & AOA (ASEAN Orthopaedic Association) Congress 2018 という、ミャンマーの整形外科の一番大きい学会（日本でいう日整会です）と、東南アジアの整形外科学会の combined meeting に参加しました。アジアだけでなく欧米を含め、様々な国の先生が参加されており、発表は全て英語でした。夜には毎晩 congress dinner に参加させていただき、英会話を楽しみながら交流することができてとても勉強になりました。病院見学は、発展途上国ということで日本とは環境が全く異なり、驚きの連続でした。毎朝の救急カンファレンスに参加したり、病院内の案内をしていただいたり、外来見学や手術見学、救急外来の見学をしたりしました。

## 9. 渡航先で苦勞されたことはどのようなことですか？

学会や訪問した病院でのカンファレンスは全て英語で行われており、言語に関しては特に苦勞はありませんでした。ヤンゴンの街中は想像していたよりも都会でしたし、移動も Grab というアプリを使用できたので、難しい会話なしにタクシー移動できました。ミャンマーは料理もおいしく、食事についても特に困りませんでした。

## 10. 渡航して、新たに経験されたこと・学ばれたことなどありますか？

これまで海外の医療現場を実際に見ることがなかったので、それだけでも貴重な経験でした。特に発展途上国の医療現場はなかなか訪問する機会もありませんし、日本や欧米のとは全く環境も異なりました。暑い国というのがありますが、外来の待合室が外だったり、病室に窓がなかったり、病室のベランダまで入院患者があふれていたり、古い病院では手術室の手洗い場が普通の水道で、術場の衛生環境も怪しい感じだったりと驚きの連続でした。先進国ではあまり見る事のなくなった感染性疾患の患者も多くいて、その鑑別や治療などを詳しく教えていただきました。

## 11. 帰国後の職場復帰はスムーズでしたか？何かご苦勞されたことがありますか？

短期間の TF だったので、特にありませんでした。

## 12. TF は、ご自身のキャリアに何か影響を与えたと思われませんか？

行き先がミャンマーというあまりメジャーな国ではなかったので、正直なところ行くまでは不安がたくさんありました。けれど、今は行ってよかったと心から思っています。私は地方の出身で、現在も地方で勤務しています。地方のいいところは、県内の整形外科の先生の多くが同門で、ネットワークが強いことだと思いますが、逆に言うと、なかなか外の医療を見る機会がありません。今回、海外、それも発展途上国であるミャンマーを訪問することができ、今の日本では見る事ができないような環境、疾患を見る事ができました。決して恵まれているわけではない環境の中でも、現地の先生方はみなさん向上心を持って仕事をされており、できる中でのベストをつくす、整形外科を発展させるという思いにあふれているこ

とが強く感じられ、とても勉強になりました。また、ミャンマーの先生方はとても優しくて面倒見がよく、それがTFに来た人にとってどれだけ助けになるかということも感じました。今後、青森にTFに来る方がいたら、沢山おもてなししようと思います。

### 13. TF・留学を考えておられる先生方に何かメッセージをお願いできませんか？

知らない場所に行くことに不安を感じる方は多いと思います。けれど、思い切って行ってみるといいと思います。必ず自分が知らなかったこと、初めての経験ができると思いますし、たとえ少し大変な思いをしたとしても、それも自分の経験になります。周りの留学経験者の先生方に話を聞いても、行かなきゃよかったという人は1人もいませんし、むしろ皆さんもっといたかったとおっしゃいます。私はいつもやらないで後悔より、やって後悔！と行ってできるだけ多くのことに挑戦するようにしています。今回も行ってよかったと思いますし、今後も機会があればTFや留学をしてみたいと思います。TFや留学に行けるチャンスはなかなかあるものではないので、機会があればぜひ参加してみてください。知らなかった世界を見て、見聞を広めることで、身になることが必ずあると思います。